インプラントオプション手術説明同意書

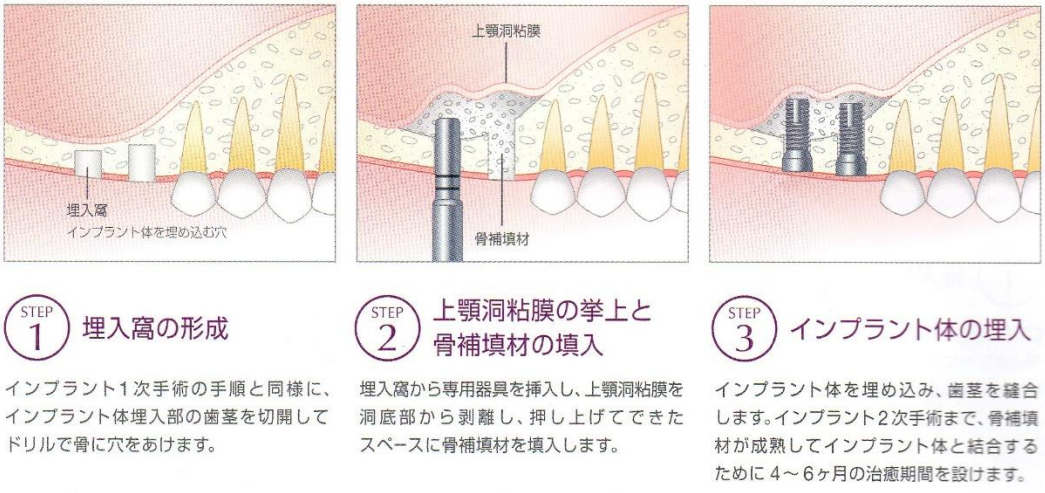
～サイナスリフト・ソケットリフト～

インプラント治療をおこなう際、インプラント体を埋め込むための骨の量が足りなかったり、骨の質が弱かったりする場合、特殊なインプラントオプション手術を併用することがあります。これらの手術をおこなうことにより、本来おこなうことが難しい部位へのインプラント治療が可能になり、長期予後を期待できるようになります。今回、＿＿＿＿＿＿＿＿様の症例に関しましては、サイナスリフト(上顎洞底挙上術)という術式が必要だと診断されましたので、その内容をよくご理解の上、治療をお受けください。

- サイナスリフト(上顎洞底挙上術)とは：

  上顎の奥歯にインプラント治療をおこなう際、上顎の骨の中にある、眼・鼻・上顎・頬の 4 方向に囲まれた上顎洞という空洞があるため、手術には注意が必要です。お口の中から、上顎洞の底部までの骨の厚みが不足している場合は、上顎洞粘膜を挙上し、同部に骨移植などインプラント体を埋入する上で十分なスペースを確保してからインプラント体を埋入する方法が必要となります。

- 手術内容：



- 手術時および手術後の合併症：

  手術中は、麻酔が効いていますのでお痛みを感じることは基本的にはありません。

  術中に上顎洞粘膜に穴が開く場合があります。穴が小さい場合はそのまま手術を続けますが、穴が大きい場合は一度手術を中止し上顎洞粘膜が回復してから、再手術を行います。

  手術後には、通常のインプラント体埋入手術と同様に３～４日間ほど出血・腫脹・疼痛・発熱などの出現が考えられますので、適切な薬物（鎮痛薬および抗菌薬）を内服します。また、一時的に腫脹に伴う開口障害・しびれ感、口角炎や鼻症状（鼻出血・鼻閉感・鼻汁）が認められることがあります。まれに、感染を起こし痛みや腫れが生じることがあります。感染が起きた場合は痛みや腫れが強かったり、長引いたりすることがあります。ごくまれに、手術後に感染や骨補填材に対する拒絶反応などにより、移植した場所に骨が出来ない場合があります。その場合は、一度骨補填材を除去し再手術をおこないます。

- 術後の注意事項

  鼻の通り道の脇にある副鼻腔に対して治療を行っておりますので、鼻をかんだり、くしゃみをしたり、ストローを使うなど、鼻と口に強い圧力がかかること、激しい呼吸を伴うような運動などは１週間程度控えて下さい。飛行機の搭乗など、大きな気圧の変化もあまり患部には望ましくありません。

  無煙タバコを含めた喫煙はお控えください。治癒不良の原因になります。

  数日間お口の中に小さな顆粒を感じることがあります。これは珍しいことではありませんので軽くうがいしてください。　　※異常を感じた場合は、医院にご連絡ください。